









れどみが船底の手を放れて淺岡樓に藝妓の仕込みどして仕込まれた菊は姉さくし立止の使ひ歩きや小用達にして甲斐なくくさくさしく藝妓連も蘭法が有りて何かく目とせ掛けたり呉るに今今は却々に心安く幸けいたわり呉るに今今は却々に心安く幸ける胸撫で下せしも束の間に前にも記れさし如何へうしたものが遊藝の道にかがたる取り回しの小供に似々なるに惚れきたる我が妹の如く愛しみつゝある甲乙み眞實我が妹の如く愛しみつゝある甲乙始めの程こそ蔵の故と飽かす面削見奥與餘りのこれに業を煮し櫛くの間に離つて稽古を附けて下るものなくれ菊は兎も藝妓になれやへんよつて三味線稽古するよりも飯炊くことでも精出しはれど唇反して言ひぬると言ふ始末迄に彼の朋輩の稽古する踊りの手振り三味線の音色に聞き惚れて羨ましいやうに口惜しやうと泣いて暮らして居るぞと決知るややらずや市作とさみの兩人は漸く店繁宮前方面では菊岡樓出れば取らるゝ有様な賭博近に玉ことにけるの店へも何うやら落着き止まらんとは得せず元手に窮したる時折小遣錢をばせむけ取り留は飽かずしてた小遣錢をばせむけ取り留は飽かずしてた酒の足し前さすことも趣同傍若無人振舞に漫岡にも元來菊は仕込みのことが餘り振舞に出した方が後の面倒なくてかば餘り振舞に出した方が後の面倒なくてかばしと相談一決しお女將は菊を腰に呼び寄せ以上の理由云ひ聞かせ暇を出旨云ひ渡せしに耳耳に水のこなれば兎も應答も顔には出でず構はした女將の顔も成り恋心の仕たる構はした女將の顔も此の所を出た後其將來はと思ひながら一剎那堪らずやありけん南の決て打藏の女將の膝に打伏して鼻を嘆ひしは身悶へして泣き沈みたる哀れの様に何と知らず女將さへ、さう涙のさくまづ其音を徐かに滴りつゝ流いて居ては涙が分らの此襟を覆出さるゝこと何故夫れは是なりとか言葉遣ひし間ひも聞かぬは酒う酒を上げ在りし昔の憂さ幸さ憂さ前の數々を包ますこゝに物語りぬ

歸順の數は日を迫ふて加はる、而

寺は彌々其の威を逞ふし其の勢  
威盛陸奥日を追て益々横暴を極め  
見すや現に金海郡及び惠山鎮の邦  
の如きは殆んど暴徒發生以來の一掃  
たる京畿道漢川郡龍潭砂金礦  
を奪たり今又も暴徒の爲めに殺れど  
が今回又も暴徒の爲めに殺れ多  
さを受けたる模様を聞くに本月十五  
日中興徒にても出會し殺害せられ  
たれば所員は氣遣ひ佐野は如何にぞ  
るに十八日に至り右の韓人のみ歸  
び同所より約二里を距ぐる韓人部落  
ありと聞かしに韓人の言々に同  
事柄は更に知らずとのことなるより  
事務長尾末吉氏は大に疑を起し直ち  
社員一名に右の韓人を先導とし之  
に従事せしもの更に要領を得ざり  
の際地方韓人の語處に依れば十六  
名の暴徒豐田より東約一里の元山街  
一韓人家屋を焼き主人を慘殺したる  
は多分同人も賊の爲め殺害せられし  
らんとのことなりしが時既に日没に  
入り一時搜索を見合はずといふ名  
の路側に就きたるが此の不意中に  
一韓人居るに於て只一名の警務  
留守を爲り居りに午後に至り約三  
五暴徒突如として諸驛裏の北方冷井里  
附近山中に避難せしが時  
員は驚き附近の山中に避難せしが時  
に猛烈なる一着射撃を試みたりしか  
り襲來り同事務所の裏手なる小高き  
臺に登り同事務所の裏手にあつた  
暴徒五挺銃を乃四挺現今六十餘間及  
並に芝浦守備隊に急報せしがば兩隊  
に馳せ來り變裝隊を組織して敵背之  
の踪跡を探ねし遂に得る處なき  
近きて此の驛騎の間際及び川波渡  
邊都に貫通鐵軌二條所及びその數  
を奪りたりと而して爰に不意中の  
是日前請支拂の爲め多くの現金を  
爲めに在庫の金員數十圓に過ぎざり  
當時同所經營者清水房吉氏は病氣の  
當分の自宅に歸り居りし事等なり尙ほ

察盟が無頼漢狩をなす中

於地方安寧を妨害するものとの認め  
 年間過剰處分を受け未だ其期間中の  
 して本町七目的博徒の親分と稱す  
 事會根田梅吉と兄弟、妾をなし賭博  
 行の氣勢を示して良民を迫害し△福  
 司市官の下着にて山井茂十郎と方  
 若菜町の石工と稱する今井茂吉方に  
 賭博を常業とし前記樋口甚兵衛及び  
 分二名と共に去る十四日午後十一  
 城谷川町二丁目飲食店森常吉方に  
 博の未金銭の受取より紛争を生じ列  
 曾根田梅吉の乾分某を殴打せんとし  
 と共謀し某を戶外に誘出したるも樋  
 其の乾分等はピストル及び刀を所持  
 たり森常吉の妻が暴行の氣勢ある  
 知し戸締をなしたる爲め某を殴打す  
 的を造せざるより樋口等はピストル  
 發砲し一彈は森方の戸口を貫きて確  
 とを破りて屋內に通り一彈は檐下  
 に負傷者なりしを以て全井の親分  
 山井吉吉及び龍山の木井某が仲立  
 思はれにやらずして己みたり次に同  
 兵衛方に滞在する廣島縣佐伯郡深江  
 本市同く樋口方に滞在する山口縣  
 新の重松長之助の兩名も樋口の乾  
 路博を常業とし屢々粗糲の行爲あ  
 て何れも保安規則第一條により二十  
 に生業に就くべき旨を命ぜられたる  
 と聞きたる幾十の博徒等は斯くも京  
 城に取締を爲すに於ては此の京城  
 には百方手を盡して其の犯人の檢  
 方めつゝありしが爰に山口縣下関市  
 者にて山崎良一といへる者刑務所  
 にかかり同人の自白する處によれば  
 午後三時仁川用吉一丁目仁川用之  
 王正門が箱中に匿き置きたる同人所  
 而後樋口輸入一枚外五點を窃取し又  
 七時頃京城南大門外茂田町に於て  
 浴入浴中其の衣類と共に釣束下

に於て今西源之助が脱

より金四十七圓餘及び汽車手荷物  
在中の錠口一個銀時計一個を盗取  
夜前記の相鑑を持って南大門驛に至り  
之助所有の黒羽二重羽織外十三點  
七十二圓) 在中の柳小季一個を盗取  
十五日仁川京師三丁目下宿屋島市  
階に於て林治郎吉所有の目覚時計一  
取し又二十日仁川花町三丁目經  
於て手島伊三郎所有の金二圓九十錢  
錠口一個を盗取したりといへり斯く  
度重なれば盡露せずして呼ぶべき早  
事の着目する所となりて此程逮捕せ  
る二十二日檢事より起訴せられたり

負賞の爲め自殺を圖る  
外西部整村坂京口親七十四統一戸  
有萬(一)は性質極めて小心にして平  
たる事に氣を揉む男なるが昨晚同人  
サモ苦しさうな息ぎ聲の聞ゆるにぞ  
者は何事ならんと駭け付け見るに隣  
に村は今や阿片を仰ぎて四苦八苦の  
ければ早速其の附近に住める同人  
迎ひ來り一方警察署に届け出せし  
醫師は巡査と共に現場に出張し手  
たるが何にぞ多量の阿片を飲用せし  
して生命多分危敷なるべし而して  
原因に就ては同人は平素より負債  
之を苦に病み居りしが現に一昨日  
鼠尾より代金を請求に來りしに支拂  
の無く依つて店の商品を抵當として  
よまれしより或は悲嘆の餘り此の暴  
ごものなるべし

同僚の無理借り  
昨紙に警察署へ曳馬  
拘けたる本町一丁目の經洛碌泉の理  
利業といへは福井縣の者に名を  
あるといへば數年前より此の韓國に流  
し一定の職業なく宜からぬことのみ  
誤脱する者に彼が警察署へ拘留せ  
る次第を待つて見ると他町の廣安チ  
といへるが同町の庄同チの所有  
を指環二個を盗取し居ることを聞知  
方に至りチヨウの内縁の夫なる者次  
て金銀を申込みといへは警察署  
告ふべきやうの口氣を漏らして警追  
調を請取したるものとて直ちに拘留

**梅毒癰病**

內科 外科

京城南大門外  
**入院隨意 戶田 病院**

**意隨院入**

**院病全十**

目丁三町想城京  
番七三七話電

**意隨院入**

**院醫城京**

目丁一町醫城京  
番二四七話電

**院病韓日**

京城新王城大漢門前

院長 橋本 三男  
醫員 吉田 定見  
同韓國軍醫  
藥劑師 蔡永錫  
會計 濱口源太郎  
井口平治  
龍山青木病院長  
隔日出張 青木 清六  
入院隨意

諸願屆、登記書類の代書、土地家屋賃買、金貸借の周旋、漢城證明手續、土地家屋及未開墾地測量

延町一丁目民役所横

**岡田 幾三郎**

取次電話 二六八番

代書并ニ  
測量製圖  
測量  
地籍證明  
手続代辦

**目笠義則**

京城本町壹丁目  
理事廳前

承造、鑑定、契約建築、諸雜用、登記書類代書、土地家屋賃買、金貸借、電話賃買等の周旋

京城本町一丁目警察署前

**小川 勝平 事務所**

電話四十一番

極材木竹類 燭灰

座敷廻り諸材料等に注意取揃あり

右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候

●小森材木部

京城旭町一丁目  
電話七四四番  
本宅四〇五番

祝支店開設一週年大賣出し

來る二十四日より十日間

景品券一圓毎に一葉進呈す

京城本町六丁目 富田支店

諸官衙向文房具卸商

京城本町郵便局前

シノサキ商店

(電話六四八番)

開店廣告

愈々發展愈確實

○舶來品直輸入販賣

○石炭大元卸

○鐵道貨物運送及配達

○諸官衙御用買次

○委託品及特約品販賣

○買次業

日韓貿易株式會社京城出張所

本店 南大門外吉市町 電話九四五  
支店 仁川日本居留地 電話七四三  
大坂西長堀南通 電話一二六六

新荷着

三府最新流行品を仕入到着致候間

陸續御用命の程奉願上候

京 城 本 町 四 丁 目

化粧品

小間物卸商

河村百福號

電話 七四六番

韓國京城株式會社

大韓天一銀行

電話五五八番

木炭着荷

京城南大門通三丁目

英兄弟商會

電話九四八番

[illegible]